

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かった場合には目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の活かした意見交換が少くばい。	会議に参加したいと思える議案、議題を考える。現状報告、活動内容、外部評価結果の報告を行い、参加者に自由に意見を述べて頂く。	事前に会議の議題を決めておき、送付する。参加して下さるご家族の意見を参考にしたい話し合いにして、自由に考えを述べて頂き、改善でき点は改善してサービス向上に努める。	6ヶ月
2	10	運営に関わらぬ家族の意見がご家族から出ない。	具体的な議題を考えてご家族が気軽になく自由に意見を述べられるように雰囲気づくりをする。ご家族が興味を持つてくれるような議題づくりをする。	事業所の取り組みを発信して、具体的な議題を考えて能動的になるように働きかける。	10ヶ月
3	33	実際に施設での看取りを行なったことがない職員同士の看取りの共通認識の差	終末ケアの小情報を集める。(本やYouTubeを活用) YouTubeで終末ケアを検索し視聴してスタッフ同士で終末ケアを話し合う。終末ケアの勉強の機会を作る。	施設内研修の場を活用して終末ケアについて話し合い小情報交換、意見交換を行って、スタッフ同士の共通認識を培う。	6ヶ月
4	35	避難訓練時の近所の協力体制、避難訓練の専門的な知識	施設の避難訓練の際、ご近所に連絡する。 消防職員から専門的な講話を聞く。	消防署による指導や、改善点等の意見を求め、それを活用する努力を行う。 ご近所に前もって施設の避難訓練をお伝えして、施設での避難訓練の実施。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄には、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。